

## 第一回北東学連総会議事録

日時 6月3日

場所 赤城総合運動自然公園アリーナ

### ○ 事業部長

- ・ 夏合宿の宿の確保、トレインの申請が完了
- ・ 四日目の企画の運営を岩手として岩手大学と岩手県立大学が担当

### ○ 広報

- ・ 北極星創刊号の配布

### ○ 幹事長

- ・ 2016年度日本学連総会の決定により、2018年度の全日本21E権保有者はインカレロングの地区学連セレクションを免除されていた。しかし想定を超える人数の免除者が出てしまったために、来年度以降はこの制度自体がなくなる（今年度のみ適用となる）。
- ・ アンチドーピング。もしかしたら将来一般クラスでもドーピング検査が行われるかも。各大学でのアンチドーピングの周知を。
- ・ 新入生への競技マナーを徹底して教える。マナーが悪かったために使えなくなったトレインもある。
- ・ インカレのアンケートへの回答を。
- ・ 専門学生のインカレへの参加は有りか。

→幹事会では専門学校は入らないのではないかという反応。しかし未だに曖昧な状態  
早期にはっきりとした回答を得られるようにする

- ・ 今年インカレプリント・ロングの締め切りが例年よりも早い。北東インカレでのセレクションが間に合わないためインカレへは出場者を全てどのクラスにでるかに関係無しに登録する。その後に幹事長がセレの結果をみてクラスを決定する。

### ○ 総会后幹事長より追加された事項

- ・ 専門学校生の学連加盟費に関して、現状の規約では「学校教育法の高等教育機関」に所属していることが学連加盟のために必要であるため、専門学生はこれに該当していない(陸上競技の規約を参考にしている)。ただオリエンテーリングというマイナーな競技においてはこういった例外も認めるべきではないかという意見も出ているため、次回の幹事会で話し合うことになった。